

# 第43回 モンゴルの世紀①

## 1 チンギス=ハンの登場

- 1206年、( ) がモンゴルの諸部族を統一した。  
→ ( ) が開かれ、( ) の称号を得た。
- カガン(可汗)に由来するハンの称号が用いられ、ウルス(国家)が形成された。



**テムジン**  
「蒼き狼」と呼ばれるモンゴルの、いや世界史上の英雄である。父を早く亡くして苦労したが、世界最大の帝国を築きあげた。

### ☆大モンゴル国(モンゴル帝国)(1206~1271年)

- ◆ ( ) (在位 1206~1227年)
- 1218年、西遼を奪っていたトルコ系遊牧民の( )を滅ぼした。
- 1220年、イランを支配するトルコ系の( )を滅ぼした。
- 1227年、中国西北部にあった( )を滅ぼした。
- ( ) という軍事・行政制度を組織した。



映画『モンゴル』

チンギス=ハンを描いた映画は多いが、異色なのが浅野忠信のテムジン役が話題を呼んだこの作品。浅野もモンゴル語で演じている。



遊牧生活のモンゴル人



再現されたモンゴル騎兵

モンゴルでは、今でも多くの人が遊牧生活を送っている。馬とともに寝起きし、馬とともに生活するモンゴル人は、世界最強の騎兵でもあった。

- モンゴルの勢力は、またたくまにユーラシアの広大な領域を支配するようになったため、( ) 世紀は一般的に「モンゴルの世紀」と呼ばれる。



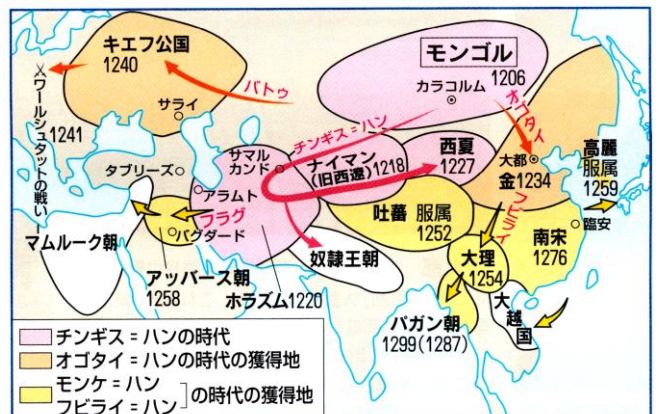
**オゴタイ**  
チンギス=ハンの三男で、オゴデイとも呼ばれる。オゴタイ以降は、モンゴル全体の君主を大ハーン、それ以外をハーンと区別された。

- ◆ ( ) (在位 1229~1241年)
- 1234年、中国北部の( )を征服した。
- 1235年、モンゴル高原に( )を建設して都とした。
- 1236年、甥の( )が西征(ヨーロッパ遠征)を行った。  
→1241年、( )でドイツ・ポーランド連合軍を破った。

### ◆グユク(在位 1246~1248年)

- オゴタイの死後、息子のグユクがハーンとなったが、すぐに急死した。
- 教皇インノケンティウス4世の命で修道士( )がカラコルムに来た。

## モンゴル帝国の発展





モンケ

第4代大ハーン。トウライの息子で、チンギスハーンの孫にあたる。

- ◆ ( ) (在位 1251~1259 年)
- ・ 1254 年、フランス王 ( ) の使者として、 ( ) がカラコルムに来た。
- ・ 1254 年、弟のフビライが雲南の ( ) を滅ぼした。
- ・ 1258 年、弟の ( ) が ( ) を滅ぼした。
- ・ 1259 年、朝鮮半島の ( ) を服属させた。

## 2 モンゴル帝国の諸ウルス

- ・ 1259 年、モンケが死ぬと、弟の ( ) が大ハーンとなった。  
→しかし弟のアリクブケやオゴタイ家の ( ) が反乱を起こした。  
→モンゴル帝国は、いくつかのウルスがゆるやかに連合する形となった。



バトゥ  
モンゴル軍随一の猛将である。

- ☆ ( ) (1243~1502 年)  
都…サライ ※ヴォルガ川の下流
- ◆ ( ) (在位 1243~1256 年)
- ・ ヨーロッパ遠征を行い、1243 年、ロシアにキプチャク=ハン国を建国した。  
※このモンゴルによる支配を、「 」と呼んでいる。  
→15 世紀に入ると、モスクワ大公国がモンゴルの支配を脱した。

- ☆ ( ) (1258~1353 年)  
都…タブリーズ
- ◆ ( ) (在位 1243~1256 年)
- ・ 兄モンケの命令で西アジアに遠征し、1258 年、 ( ) を滅ぼした。
- ◆ ( ) (在位 1295~1304 年)
- ・ 1295 年、 ( ) に改宗して国教とした。
- ・ 宰相 ( ) は、モンゴルの歴史書『 』を書いた。



フラグ

モンケやフビライの弟である。アッパース朝のカリフを処刑した後、イランやイラクを中心にイル=ハン国を建国した。ハイドゥの乱では、実兄のフビライを支持した。



ガザン=ハンの改宗

このころイル=ハン国では王位継承争いがあった。大多数を占めるムスリム系住民の支持を得るために、イスラーム教へ改宗したらしい。



ラシード=アッディーン

モンゴル人ではなくイラン人である。そのため『集史』もペルシア語で書いている。ちなみに「ガザン=ハンの改宗」の絵は、『集史』の挿絵である。



チャガタイ

チンギスハーンの次男。厳格な人物であった。

- ☆ ( ) (1227~14 世紀に分裂)
- ◆ ( ) (在位 1229 ころ~1242 年)
- ・ チンギス=ハンの子チャガタイとその子孫が、中央アジアに建国した。  
→14 世紀に分裂し、15 世紀には西から ( ) が登場した。